

式 辞

校庭の木々の緑が鮮やかさを増し、暖かい春の陽射しが感じられる今日の佳き日に、大阪府立四條畷高等学校第76回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びであります。

P T A会長松浦様をはじめ、ご来賓のP T A役員の皆さまには、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今入学の告示を行いました360名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大による様々な制約により、思うようにいかないことが多々あったと思います。その中で、懸命に学び、厳しい受験を乗り越え、難関を突破して本校入学を果たした皆さんを誇りに思います。

本校は、1903（明治三十六）年、旧制四條畷中学校としてこの地に生まれ、今年で創立118年を迎える歴史と伝統のある高等学校です。創立以来の教育方針として『質実剛健』『文武両道』を掲げ、「自主・自律・自由」の精神を育んできました。卒業生は3万人を優に超え、あらゆる分野で、また世界中のいたるところで各界のリーダーとして活躍し、社会に貢献しています。

現在は、大阪府のグローバル・リーダーズ・ハイスクール（G L H S）として10年目を迎え、文部科学省からはスーパー・サイエンス・ハイスクール（S S H）の指定を受け、将来、科学者やグローバルリーダーとして国際的に活躍できる人材の育成をねらいとして、様々な教育活動を展開しています。

生徒たちは、『質実剛健』『文武両道』の伝統の下、「勉強とクラブの二兎を追い、極める」ことができるよう頑張っています。98%の生徒が部活動で活躍し、進路でも昨年度は、京都大学・大阪大学・神戸大学に合わせて72名、国公立大学には210名が合格しました。

本校入学に際し、皆さんに伝えたいことが三つあります。

一つ目は、「好きなもの」を見つけるということです。

本校の卒業生に、知性派タレント・俳優としてクイズ番組などで活躍されている村井美樹さんがいます。村井さんは、ある新聞のインタビューで、ご自身の高校時代について「高校時代に好きだったものが30代を過ぎて開花し、さらに新たな世界へと広がっている感じです。いまは鉄道と歴史に関するお仕事が多いのですが、高校時代にその基本があり、無駄なものは何もないと感じます。何より好きというのは何ものにも代えがたいエネルギー、それが勉強に向かうパワーにもなります。」と、おっしゃっています。私自身も教師になりたいと思った原点は高校時代にあります。皆さん、勉強、クラブ、行事、友人、何でも構いません。高校卒業10年後でも追い続けられるような「好きなもの」、「大切なもの」を本校で見つけてください。

二つ目は「何のために学ぶのかについて」です。

いま、私たちは、新型コロナウイルスへの対応をはじめ、貧困や紛争、気候変動など明確な答えのない多くの問題に直面しています。「持続可能な社会を築くために

はどうしたらいいのか？」世界では、多様な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考えています。私は、皆さんにも、本校での学びを通して、このような未知の問題に関して、自分で課題を見つけ、情報を分析して解決策を考え、表現する。そんなグローバルな視点と柔軟な発想を身に付けてほしいと願っています。難関大学合格は高校生活の目標であっても目的であってはなりません。本校には、授業はもちろん、部活動や行事、探究チャレンジなど、様々なことに本気で打ち込める環境があります。そして、切磋琢磨し高め合う仲間と、皆さんに寄り添い一緒に頑張ってくれる教職員がいます。学問とは、世のために尽くしてこそ価値があります。皆さんには、自分の人生を豊かにするという目的だけではなく、将来自分はどのように社会に貢献していくのかという高い志をもって、学んでほしいと思います。

三つ目は「息をするように努力する」ということです。

本校は学校満足度がとても高い高校ですが、生徒たちは、授業の予習や復習、部活動、行事に追われてとても忙しい毎日を送っています。そして、時には失敗しながら、今できることに最善を尽くすことで高いハードルを乗り越え成長しています。例えば、皆さんが、最初の試験で、中学校の時のような成績が取れなくても心配する必要はありません。なぜなら、本当のゴールはずっと先にあるからです。失敗して挫折することも大切な経験です。努力とは息をするように続けられることをいいます。大切なのは継続です。自分の弱点と向き合い、自分を信じて無理をせず、息をするように努力してください。必ず道は開けます。そして、皆さんが頑張っている姿はいつも誰かが見守ってくれていること、いつも誰かが支えてくれていることを決して忘れないでください。

さあ、今日から皆さんは畷高 76 期生です。今、皆さんが感じている喜びや誇り、そして一抹の不安を、3 年後の卒業の時には「畷高で学べて本当に良かった」と思える 3 年間にしてください。私たち教職員は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい可能性をさらに伸ばしていけるように全力でサポートしていきます。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点において、共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴らしいものになることを祈念して、式辞とします。

令和 3 年 4 月 8 日

大阪府立四條畷高等学校長 稲 葉 剛